

## 5. 保健学科の教育課程と授業について

本学科の教育課程は、教養教育の授業科目（以下「教養教育科目」という。）及び専門教育の授業科目（以下「専門教育科目」という。）からなります。

教養教育科目の履修等に関することは、徳島大学教養教育履修規則で定められており、専門教育科目の履修等に関することは、徳島大学医学部規則で定められています。

### (1) 卒業要件

卒業するためには、次の単位を修得しなければなりません。

また、修業年限は4年であり、在学期間は修業年限の2倍（8年）を超えることはできません。

#### ○ 看護学専攻

教養教育科目		35単位以上
専門教育科目	必修科目	88単位
	選択科目	5単位以上
合計		128単位以上

#### ○ 放射線技術科学専攻

教養教育科目		37単位以上
専門教育科目	必修科目	94単位
	選択科目	4単位以上
合計		135単位以上

#### ○ 検査技術科学専攻

教養教育科目		35単位以上
専門教育科目	必修科目	88単位
	選択科目	5単位以上
合計		128単位以上

### (2) 国家試験受験資格

各専攻の卒業生には、次の国家試験の受験資格が与えられます。

看護学専攻	看護師国家試験、※保健師国家試験
放射線技術科学専攻	診療放射線技師国家試験
検査技術科学専攻	臨床検査技師国家試験

※選択制により受験資格を取得可能です。

3年次で実施する保健師選抜試験に合格することが必要となります。

### (3) 取得可能な免許・資格

看護学専攻及び検査技術科学専攻では、必要科目を履修することにより、それぞれ、次の免許状及び受験資格が取得できます。

看護学専攻	養護教諭一種免許状 養護教諭二種免許状（※）
検査技術科学専攻	健康食品管理士認定試験の受験資格 遺伝子分析科学認定士（初級）

※保健師免許と教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を単位修得することにより、卒業後個人申請により取得できます。詳しくは担当教員に相談してください。

### (4) 履修要件（令和2年度入学用）

#### (1) 看護学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数		
				必 修	選 択	
教 養 教 育 科 目	一般教養教育科目群	歴史と文化		4	網掛けの 科目から 4単位の 履 修	
		人間と生命		4		
		生活と社会		4		
		自然と技術		4		
	グローバル化教育科目群		グローバル化教育科目			
	イノベーション教育科目群		イノベーション教育科目		2	
	基礎基盤教育科目群		ウェルネス総合演習			
	汎用的技能教育科目群	S I H道場		1		
		情報科学		2		
		スタディスキル				
		コミュニケーション				
	地域科学教育科目群		地域科学教育科目		2*	
	医療基盤教育科目群		医療基盤教育科目			
外国語教育科目群	英 語	基盤英語(B)		2		
		主題別英語(T)		2		
		発信型英語(C)		2		
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語	入門	2		
		フランス語	入門			
		中国語	入門			
計				35		
専 科 教 育 目	学科共通科目		13	3		
	専門科目		75	2		
	計		88	5		

注1) \*地域科学教育科目群は地域志向科目として指定された授業題目から2単位を履修することで代えることができる。

注2) 網掛け部分については、各科目2単位を上限とする。

注3) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

## (2) 放射線技術科学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数	
				必 修	選 択
教 養 教 育 科 目	一般教養教育科目群	歴史と文化		2	
		人間と生命		4	
		生活と社会		2	
		自然と技術		4	
	グローバル化教育科目群	グローバル化教育科目			網掛けの科目から 2単位の履修
	イノベーション教育科目群	イノベーション教育科目		2	
	基礎基盤教育科目群	基礎数学		2	
		基礎物理学		2	
		基礎化学		2	
		基礎生物学		2	
		ウェルネス総合演習			
	汎用的技能教育科目群	S I H道場		1	
		情報科学		2	
		スタディスキル		—	
		コミュニケーション		—	
	地域科学教育科目群	地域科学教育科目		2*	
	医療基盤教育科目群	医療基盤教育科目			
外国語教育科目群	英 語	基盤英語(B)		2	
		主題別英語(T)		2	
		発信型英語(C)		2	
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語	入門	2	
		フランス語	入門		
		中国語	入門		
計				37	
専 門 教 育 科 目	学科共通科目		12	4	
	専門科目		78		
	卒業研究		4		
	計		94	4	

注1) \*地域科学教育科目群は地域志向科目として指定された授業題目から2単位を履修することで代えることができる。

注2) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

注3) 保健学科放射線技術科学専攻が教養教育科目（医療基盤教育科目群）として開講する授業が1科目あります。下表を参照してください。

区 分	授業題目
医療基盤教育科目群	放射線医学入門

(3) 検査技術科学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数	
				必 修	選 択
教 養 教 育 科 目	一般教養教育科目群	歴史と文化		2	網掛けの 科目から 6単位の 履 修
		人間と生命		2	
		生活と社会		2	
		自然と技術		2	
	グローバル化教育科目群	グローバル化教育科目			
	イノベーション教育科目群	イノベーション教育科目		2	
	基礎基盤教育科目群	基礎化学		2	
		基礎生物学		2	
		ウェルネス総合演習			
	汎用的技能教育科目群	SIH道場		1	
		情報科学		2	
		スタディスキル			
		コミュニケーション			
	地域科学教育科目群	地域科学教育科目		2*	
医療基盤教育科目群	医療基盤教育科目		2		
外国語教育科目群	英 語	基盤英語(B)		2	
		主題別英語(T)		2	
		発信型英語(C)		2	
	英語以外の 外国語科目	ドイツ語	入門	2	
		フランス語	入門		
		中国語	入門		
計				35	
専 門 教 育 科 目	学科共通科目		13	5	
	専門科目		71		
	卒業研究		4		
	計		88	5	

注1) \*地域科学教育科目群は地域志向科目として指定された授業題目から2単位を履修することで代えることができる。

注2) 網掛け部分については、各科目2単位を上限とする。

注3) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

注4) 保健学科検査技術科学専攻が教養教育科目（医療基盤教育科目群）として開講する授業が1科目あります。下表を参照してください。

区 分	授業題目
医療基盤教育科目群	臨床検査学入門



区分	授業科目名等	単位数		授業時間数	授業を行う年次				備考
		必修	選択		1年	2年	3年	4年	
専門科	母性・小児看護学	高齢者看護学実習	2		90			90	(実習)
		母性看護学概論	2		30	30			
		母性援助論	2		30		30		
		小児看護学概論	2		30	30			
		小児援助論	2		30		30		
		母性看護学実習	2		90			90	(実習)
		小児看護学実習	2		90			90	(実習)
		*母児関係論		1	15			15	
		*子どものメンタルヘルス		1	15			15	
	地域・精神看護学	精神看護学概論	2		30	30			(実習)
		精神看護援助論	2		30		30		
		精神看護学実習	2		90			90	(実習)
		在宅看護学概論	2		30	30			
		在宅看護援助論	2		30		30		
		在宅看護学実習	2		90			90	(実習)
		地域看護学概論	1		15	15			
		*公衆衛生看護学概論		2	30	30			
		*公衆衛生看護援助論		3	45			45	
		*公衆衛生看護学実習		5	225				225 (実習)
*ケアマネジメント			1	15		15			
*健康教育方法論			1	15				15	
※*学校保健論			1	15			15		
*産業保健・看護論			1	15			15		
*保健医療福祉行政論		3	45			45			
総合看護学	健康管理論	1		15				15	
	*疫学		2	30		30			
	#家族看護学		1	15				15	
	*ケアシステム論		1	15		15			
	原書講読Ⅰ	1		15		15			
	原書講読Ⅱ		1	15				15	
	看護管理学		1	15				15	
	看護教育学		1	15				15	
	看護研究Ⅰ	1		15				15	
	看護研究Ⅱ	4		120				120 (演習)	
	看護倫理	1		15				15	
	#国際看護活動論		1	15	15				
	*災害看護		1	15				15	
看護導入実習	1		45			45			
看護統合実習	2		90				90 (実習)		
小計		75	30	2,565	225	675	1,095	570	
合計		88	39	2,940	420	795	1,155	570	

- (注) 1. 選択科目の5単位は、学科共通科目の中から3単位、専門科目の中から看護管理学又は看護教育学を含む2単位を履修する。
2. 保健師国家試験の受験資格を取得しようとする者は、選択科目のうち\*印の科目をすべて履修し、かつ、#印の科目から3単位(学科共通科目の中から1単位、専門科目の中から2単位)を履修する。
3. 養護教諭一種免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、選択科目のうち※の科目をすべて履修する。

#### 卒業要件

教養教育科目		35単位以上
専門教育科目	必修科目	88単位
	選択科目	5単位以上
	計	93単位以上
合計		128単位以上

## (2) 放射線技術科学専攻

区分	授業科目名等	単位数		授業時間数	授業を行う年次				備考		
		必修	選択		1年	2年	3年	4年			
学 科 共 通 科 目	人間	人間関係論		1	15		15			(実習)	
		生化学Ⅰ	1		15		15				
		解剖生理学Ⅰ	1		15	15					
		解剖生理学Ⅱ	1		15	15					
		解剖生理学Ⅲ	1		15	15					
		解剖生理学Ⅳ	1		15	15					
	環境	衛生学		1	15	15					
		保健学概論	1		15	15					
		医療経済論		1	15		15				
		社会福祉概論		1	15			15			
	医療	放射線衛生学	1		15		15				
		医療安全管理学	1		15			15			
		介護実習		1	45		45				
		チーム医療論		1	15	15					
		教育指導論		1	15				15		
	健康	薬理学	1		15			15			
		栄養学		1	15			15			
		精神保健		1	15			15			
		免疫学Ⅰ	1		15			15			
		病理学Ⅰ	1		15			15			
		医学統計学	1		15		15				
		医学統計学演習		1	30		30				
	小計		12	10	375	105	150	105	15		
	専 門 科 目	放射線 科 学	放射線生物学	2		30		30			
			放射線計測学	1		30		30			
			放射線物理学Ⅱ	1		15		15			
			放射化学Ⅱ	1		15		15			
電子計算機工学演習			1		30		30				
制御システム工学			2		45			45			
放射線機器工学Ⅰ			2		30		30				
放射線機器工学Ⅱ			1		15			15			
放射線機器工学実習			1		30			30			
医用画像機器工学			1		15		15				
医用画像機器工学実習			1		30				30		
磁気共鳴学			1		15			15			
医用システム工学				1	15			15			
核医学計測学			1		15		15				
核医学計測学実習			1		30			30			
核医学検査機器工学			1		15			15			
放射線計測学実習			1		30			30			
放射線治療機器工学			1		15			15			
画像基礎論			2		30		30				
画像基礎論実習		1		30		30					
医用画像情報学Ⅰ	2		30			30					
医用画像情報学Ⅱ	2		30			30					

区 分	授 業 科 目 名 等	単 位 数		授 業 時 間 数	授 業 を 行 う 年 次				備 考
		必 修	選 択		1 年	2 年	3 年	4 年	
専 門 技 術 学 科 目	先端医療と放射線		1	15				15	(実習)
	画像解剖学Ⅰ	2		30		30			
	画像解剖学Ⅱ	1		15		15			
	診療画像学Ⅰ	2		30		30			
	診療画像学Ⅰ実習	2		60		60			
	診療画像学Ⅱ	1		15			15		
	C T画像技術学	1		15			15		
	M R I技術学	1		15			15		
	核医学技術学	2		30			30		
	核医学技術学実習	1		30			30		
	放射線治療技術学	2		30			30		
	放射線治療技術学実習	1		30			30		
	放射線腫瘍学	1		15			15		
	関係法規	1		15			15		
	放射線管理学	2		30			30		
	放射線管理学実習	2		60			60		
	臨床技能実習	1		45			45		
	診療画像学臨床実習	5		225				225	
	核医学技術学臨床実習	2		90				90	
	放射線治療技術学臨床実習	2		90				90	
専 攻 共 通 科 目	臨床医学概論	1		15	15				(実習)
	画像病態学	1		15				15	
	保健科学	1		15		15			
	基礎医科学実習	1		30		30			
	放射線物理学Ⅰ	2		30	30				
	放射化学Ⅰ	1		15	15				
	放射化学実習	1		30		30			
	応用数学Ⅰ	1		30	30				
	応用数学Ⅱ	1		15		15			
	電気電子工学	2		30	30				
	電気電子工学実習	1		30		30			
	医用工学Ⅰ	1		15		15			
	医用工学Ⅱ	2		30		30			
	医用工学実習	1		30			30		
	専門外国語		1	15			15		
情報活用演習	1		30	30					
医療情報処理学演習	1		30		30				
国際医療活動論		1	15	15					
小 計	78	4	1,845	165	570	645	465		
卒業研究	卒業研究	4		180			45	135	
小 計		4		180			45	135	
合 計		94	14	2,400	270	720	795	615	

(注) 選択科目の4単位は、学科共通科目及び専門科目の中から4単位を履修する。

#### 卒業要件

教 養 教 育 科 目		37単位以上
専 門 教 育 科 目	必修科目	94単位
	選択科目	4単位以上
	計	98単位以上
合 計		135単位以上



## (3) 検査技術科学専攻

区分	授業科目名等	単位数		授業時間数	授業を行う年次				備考	
		必修	選択		1年	2年	3年	4年		
学 科 共 通 科 目	人間	人間関係論		1	15		15			(実習)
		生化学Ⅰ	1		15	15				
		解剖生理学Ⅰ	1		15	15				
		解剖生理学Ⅱ	1		15	15				
		解剖生理学Ⅲ	1		15	15				
		解剖生理学Ⅳ	1		15	15				
	環境	衛生学	1		15	15				
		保健学概論	1		15	15				
		医療経済論		1	15		15			
		社会福祉概論		1	15			15		
	医療	放射線衛生学		1	15		15			
		医療安全管理学	1		15		15			
		介護実習		1	45		45			
		チーム医療論		1	15	15				
	健康	教育指導論		1	15			15		
		薬理学	1		15			15		
		栄養学		1	15		15			
		精神保健		1	15		15			
		免疫学Ⅰ	1		15		15			
		病理学Ⅰ	1		15		15			
医学統計学		1		15		15				
医学統計学演習	1		30		30					
小計		13	9	375	120	210	45	0		
専 門 科 目	機能検査学	生化学Ⅱ	1		15	15				
		生化学実習	1		45		45			
		保健学	1		15		15			
		環境衛生学	1		15		15			
		保健環境学実習	1		45		45			
		臨床化学Ⅰ	1		30		30			
		臨床化学Ⅱ	1		30			30		
		臨床化学実習	4		180			120	60	
		放射性同位元素検査技術学	1		30		30			
		生理学実習	1		45		45			
		生理検査学Ⅰ	1		30			30		
		生理検査学Ⅱ	1		30			30		
		画像検査学	1		30		30			
		生理検査学実習	2		90			30	60	
	画像検査学実習	1		45			45			
	臨床画像検査学	1		15			15			
	分析化学	1		15		15				
	形態系検査学	解剖学実習	1		45		45			
		病理学Ⅱ	1		15		15			
		病理学実習	1		45			45		
病理検査学		1		15			15			
病理検査学実習		3		135			75	60		
微生物学Ⅱ		1		15	15					

区 分	授 業 科 目 名 等	単 位 数		授 業 時 間 数	授 業 を 行 う 年 次				備 考		
		必 修	選 択		1 年	2 年	3 年	4 年			
専 門 科 目	形 態 系 検 査 学 専 攻 共 通	臨床微生物学Ⅰ	1		15		15			(実習)	
		臨床微生物学Ⅱ	1		15			15			
		微生物学実習	4		180			120	60		
		医動物学	1		15				15		(実習)
		医動物学実習	1		30				30		
		臨床血液学Ⅰ	1		15		15				(実習)
		臨床血液学Ⅱ	1		15		15				
		臨床血液学実習	3		135				75	60	
		免疫学Ⅱ	1		15		15				(実習)
		免疫検査学	1		15				15		
		輸血検査学	1		15				15		
		免疫検査学実習	3		135				75	60	(実習)
		輸血検査学実習	1		45				45		
		分子遺伝学		1	15		15				(実習)
		遺伝学		1	15			15			
		遺伝子検査学Ⅰ	1		15		15				(実習)
		遺伝子検査学Ⅱ	1		15				15		
		検査機器総論	2		30		30				
医用工学概論	1		30	30					(実習)		
医用工学実習	1		45		45						
臨床医学総論	2		30			30					
臨床病理学総論	2		30			10	20		(実習)		
臨床検査総論Ⅰ	1		15		15						
臨床検査総論Ⅱ	1		30			30					
臨床検査総論実習	2		90		30		60		(実習)		
検査管理総論	2		30			30					
医療法規	1		15				15				
臨床技能実習	1		30			30			(実習)		
電子計算機概論		2	30		30						
電子計算機概論実験		1	45		45				(実習)		
専門外国語	2		30			30					
病態栄養と臨床検査	1		15				15		(実習)		
※健康食品学		2	30			30					
※健康食品法規		1	15			15					
国際医療活動論		1	15	15					(実習)		
統合臨床検査学		2									
小 計		71	11	2,250	75	630	1,060	485			
卒業研究	卒業研究	4		180				180			
小 計		4		180				180			
合 計		88	20	2,805	195	840	1,105	665			

(注) 1. 選択科目の5単位は、学科共通科目及び専門科目の中から5単位を履修する。

2. 健康食品管理士認定試験の受験資格を取得しようとする者は、選択科目のうち※印の科目をすべて履修する。

#### 卒業要件

教 養 教 育 科 目		3 5 単 位 以 上
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	8 8 単 位
	選 択 科 目	5 単 位 以 上
	計	9 3 単 位 以 上
合 計		1 2 8 単 位 以 上

## (6) 進級要件及び先修条件

保健学科学学生への進級要件及び先修条件は、次のとおりです。

(授業科目の先修条件)

履修に必要な条件として、あらかじめ成績評価が合格点に達していなければならない授業科目を定める

第2年次への進級要件

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
教養教育科目	※25単位以上	※27単位以上	※25単位以上
専門教育科目	第1年次開講のすべての必修科目		

※については表1の中より取得する。

第3年次への進級要件

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
教養教育科目	※35単位以上	※37単位以上	※35単位以上
専門教育科目	第2年次開講のすべての必修科目		

※については表1の中より第1年次における取得単位を含めてとする。

注)ただし、看護学専攻については、第2年次後期に開設される基礎看護学実習Ⅱを受講するためには、第2年次後期までに履修しなければならない基礎看護学に区分される全ての科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

第4年次への進級要件(3年次編入学生を除く)

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
専門教育科目	第3年次開講のすべての必修科目		

注)ただし、看護学専攻については、第3年次後期から始まる臨地実習を受講するため、第3年次前期終了までに履修しなければならない科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

注)ただし、放射線技術科学専攻については、第3年次後期に行われる臨床技能実習及び卒業研究の科目を受講するためには、第3年次前期のすべての必修科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

第1年次又は第2年次の留年学生が上級学年の科目の履修を希望する場合は、当該年次の科目の履修を優先した上で、上級学年の専門教育担当教員に受講申請し、承認を得た科目について履修を認める。この場合において、留年学生が2学年上の進級要件を満たせば、第3年次又は第4年次への進級を認める。

表1

○ 看護学専攻

区 分	授 業 科 目	卒業要件単位数	
		必 修	選 択
一般教養教育科目群	歴史と文化	4	網掛の 科目から 4単位の 履修
	人間と生命	4	
	生活と社会	4	
	自然と技術	4	
グローバル化教育科目群	グローバル化教育科目		
イノベーション教育科目群	イノベーション教育科目	2	
基礎基盤教育科目群	ウェルネス総合演習		
汎用的技能教育科目群	S I H道場	1	
	情報科学	2	
	スタディスキル		
	コミュニケーション		
地域科学教育科目群	地域科学教育科目	2*	
医療基盤教育科目群	医療基盤教育科目		
外国語教育科目群	英語	※6	
	英語以外の外国語科目	2	
合 計		35	

※うち3単位は2年次に開講される。

○ 放射線技術科学専攻

区 分	授 業 科 目	卒 業 要 件 単 位 数	
		必 修	選 択
一般教養教育科目群	歴史と文化	2	
	人間と生命	4	
	生活と社会	2	
	自然と技術	4	
グローバル化教育科目群	グローバル化教育科目		網掛けの科目から2単位の履修
イノベーション教育科目群	イノベーション教育科目	2	
基礎基盤教育科目群	基礎数学	2	
	基礎物理学	2	
	基礎化学	2	
	基礎生物学	2	
	ウェルネス総合演習		
汎用的技能教育科目群	S I H道場	1	
	情報科学	2	
	スタディスキル	—	
	コミュニケーション	—	
地域科学教育科目群	地域科学教育科目	2	
医療基盤教育科目群	医療基盤教育科目		
外国語教育科目群	英 語	※6	
	英語以外の外国語科目	2	
合 計		3 7	

※うち3単位は2年次に開講される。

○ 検査技術科学専攻

区 分	授 業 科 目	卒 業 要 件 単 位 数	
		必 修	選 択
一般教養教育科目群	歴史と文化	2	網掛けの科目から6単位の履修
	人間と生命	2	
	生活と社会	2	
	自然と技術	2	
グローバル化教育科目群	グローバル化教育科目		
イノベーション教育科目群	イノベーション教育科目	2	
基礎基盤教育科目群	基礎化学	2	
	基礎生物学	2	
	ウェルネス総合演習		
汎用的技能教育科目群	S I H道場	1	
	情報科学	2	
	スタディスキル		
	コミュニケーション		
地域科学教育科目群	地域科学教育科目	2	
医療基盤教育科目群	医療基盤教育科目	2	
外国語教育科目群	英 語	※6	
	英語以外の外国語科目	2	
合 計		3 5	

※うち3単位は2年次に開講される。

## 6. 養護教諭一種免許状取得に関する単位修得要領（保健学科 看護学専攻）

### (1) 基礎資格

学士の学位を有すること。

### (2) 所要単位数

科目区分	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	養護に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
単位数	8	28	8	6	7	7

単位数：必要最低単位数を示す。

### (3) 法令で規定された単位数

#### ① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目（教養教育科目）	
科目	単位数	授業科目 [授業題目]	単位数
日本国憲法	2	生活と社会 [憲法と人権]	2
		" [憲法と人権Ⅰ]	2
		" [憲法と人権Ⅱ]	2
		" [憲法と市民自治]	2
体育	2	ウェルネス総合演習	2
外国語コミュニケーション	2	英語	2
		英語以外の外国語科目	2
情報機器の操作	2	情報科学 [情報科学入門]	2

#### ② 養護に関する科目

免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目	
科目	授業科目	単位数
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	○衛生学	1
	○保健学概論	1
	○健康管理論	1
	○病理学Ⅰ	1
	産業保健・看護論	1
	保健医療福祉行政論	3
	疫学	2
学校保健	○学校保健論	1
	○地域看護学概論	1
	疾病論Ⅶ	1
	リスクマネジメント	1
養護概説	○養護概説Ⅰ	1
	○養護概説Ⅱ	1
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	○健康相談活動	1
	○人間関係論	1
	子どものメンタルヘルス	1
	ヘルスアセスメント	1

免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目	
科 目	授 業 科 目	単位数
栄養学（食品学を含む。）	○生化学Ⅰ	1
	○栄養学	1
解剖学・生理学	○解剖生理学Ⅰ	1
	○解剖生理学Ⅱ	1
	解剖生理学Ⅲ	1
	解剖生理学Ⅳ	1
「微生物学，免疫学，薬理概論」	○薬理学	1
	疾病論Ⅱ	1
	○疾病論Ⅲ	1
	免疫学Ⅰ	1
精神保健	○精神保健	1
	○精神看護学概論	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	○看護学概論	2
	看護理論	1
	看護技術Ⅰ	1
	看護技術Ⅱ	2
	看護技術Ⅲ	1
	基礎看護学実習Ⅰ	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2
	看護統合実習	2
	成人看護学概論	2
	成人援助論Ⅰ	2
	成人援助論Ⅱ	2
	成人看護学実習Ⅰ	2
	成人看護学実習Ⅱ	4
	母性看護学概論	2
	母性援助論	2
	母性看護学実習	2
	小児看護学概論	2
	小児援助論	2
	小児看護学実習	2
	精神看護援助論	2
	在宅看護学概論	2
	在宅看護援助論	2
	在宅看護学実習	2
	公衆衛生看護学概論	2
	公衆衛生看護援助論	3
	○医療安全管理学	1

③ 教育の基礎的理解に関する科目

道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目

教育実践に関する科目

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目	
科 目	各科目に含める必要事項	授 業 科 目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2
	・教職の意義及び教員の役割 ・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	2
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営	2
	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・言語心理学	2
		発達心理学	2
	・特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	
道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目	・道徳，総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育	2
		総合的な学習の時間の指導法	1
		特別活動論	2
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	2
	・生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	
教育実践に関する科目	・養護実習	養護実習	4
		養護実習事前事後指導	1
	・教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	2

(4) 履修上の注意

- ① 「養護に関する科目」の○印は，すべて履修すること。
- ② 「養護に関する科目」の「看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）」については，「看護学概論」及び「医療安全管理学」を含み，合計10単位以上を修得すること。
- ③ 「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」として開設されている授業科目は，すべて履修すること。
- ④ 「大学が独自に設定する科目」の所要単位は，「養護に関する科目」として開設されている授業科目から選択履修し，修得すること。

(5) 養護実習の履修資格

養護実習は第4年次に行う。

履修資格は次のとおり。

- ① 「養護実習」を履修する前年度までに，「養護に関する科目」のうち「養護概説Ⅰ」，「養護概説Ⅱ」，「健康相談活動」，「医療安全管理学」の4単位，「教育の基礎的理解に関する科目」のうち8単位，「道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目」のうち6単位を修得していること。
- ② 養護実習事前指導を履修していること。

附 則

この要領は，平成31年4月1日から実施し，平成31年度入学生から適用する。